未来へつなぐ

スポーツで町を笑顔に。スケートフェスティバル開催！スポーツ探検隊 始動！

スケートフェスティバル終了時の集合写真。
参加者全員が笑顔になりました！

復興ボラセンメンバーの鳥實裕弥さんが事務局を勤めている「NPO法人アビースポーツクラブ」。震災をきっかけに町内のスポーツ少年団が競技の壁を超え、互いに協力しながらよりよいスポーツ環境を創ること、そして地域にスポーツ文化を根付かせることを目指し設立された団体です。

２月11日㈭、毎年恒例のスケート記録会が中止になり、「楽しみにしていた子どもたちのために立ち上がろう！」とアビースポーツクラブと教育委員会、そしてスケート協会がタッグを組み、開催されたスケートフェスティバル。総勢20名以上の町内の子どもたちが参加し、50m，100m滑走などをメインとしたスケート競技を披露。復興ボラセンメンバーの林、台、吉田、鈴木も当日の実況中継やバス添乗、温かいスープの差し入れをするなどのお手伝いをさせていただきました。

遊び感覚で楽しむ子どもたちが
印象的でした。

２月13日㈯には遠浅小学校にて「スポーツ探検隊」も開催！「バレーボールをやってみたい！」という町内の子どもの声を掬って実現された今回の企画。こちらは町内のバレーボールチーム「早来アクティブ」の監督、コーチ、そして選手の皆さんの全面サポートのもとイベントが実現しました。

予約の開始直後から申し込みが殺到し、小学校１学年から中学校２年生、また、親子での参加も多く見られました。

参加した子どもたちはほとんどが未経験者で、ボールを使った遊びを通じてボールに慣れるところから始まりました。後半には小学校低学年と高学年、そこに大人も混じったチームに分かれて試合形式でミニゲームを実施。終始遊び感覚の楽しい雰囲気で参加者の笑顔溢れるイベントになりました。「お試しで気軽にやってみたいけど、チームに入るほどでもない…」そんな、誰もが「分かる～」と言ってしまいがちなところを補ってくれる「スポーツ探検隊」。今後もシリーズ化していくということなので、気になったスポーツが体験できる際はぜひ参加してみてください！

「やりたい！」をカタチに。町内の小学生、高校生が挑戦。第２回 ABIRA TALKS 開催！

町内の高校生（左）と小学生（右）が想いを込めてプレゼン！

２月６日㈯、ENTRANCEにて第２回目となる「ABIRA TALKS」が開催されました。この日は追分に住む小学６年生と追分高校１年生の２人が登壇し「僕はこれをやりたい！！！」と思うプロジェクトをプレゼンしました。

結果は１人が成功、１人が惜しくも達成ならず…。ということになってしまいましたが、自分の想いを伝え、資金を募ることの楽しさ、難しさを実感することができたイベントになりました。ジャッジした大人たちもプロジェクトをより良くするためのアドバイスを心を込めて送っていました。これからも町民の挑戦を応援できる場と環境を創り続けていきたいと思います。

（一社）安平町復興ボランティアセンター は 2021年4月1日より（一社）ENTRANCE へと名称を変更し、
“安平町の未来を創る団体”へと生まれ変わります。

ENTRANCE

公式LINEで
最新情報お知らせ中！

（一社）安平町復興ボランティアセンター
TEL：070－3139－0374
MAIL：abira.fukkouborasen@gmail.com

記事提供　安平町復興ボランティアセンター
編集・校正　安平町役場総務課情報グループ